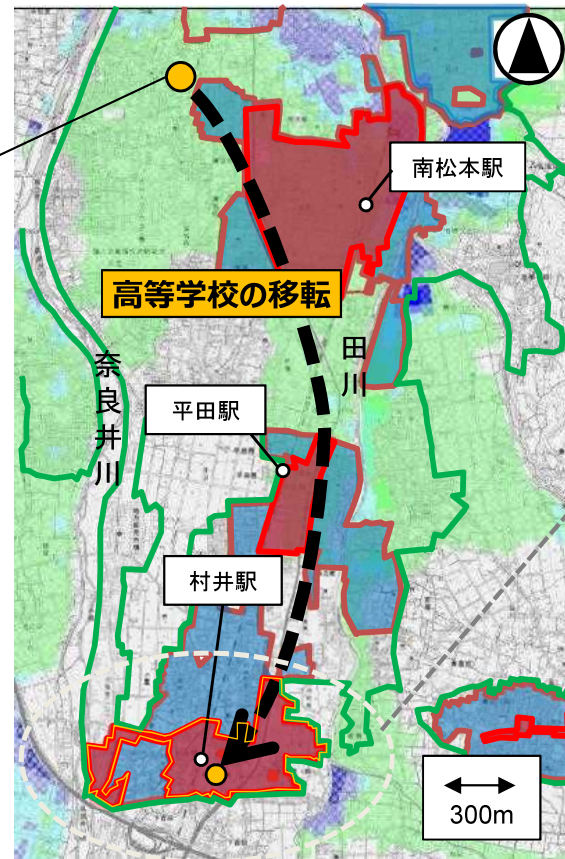


【事例】村井駅周辺地区都市構造再編集中支援事業(長野県松本市)

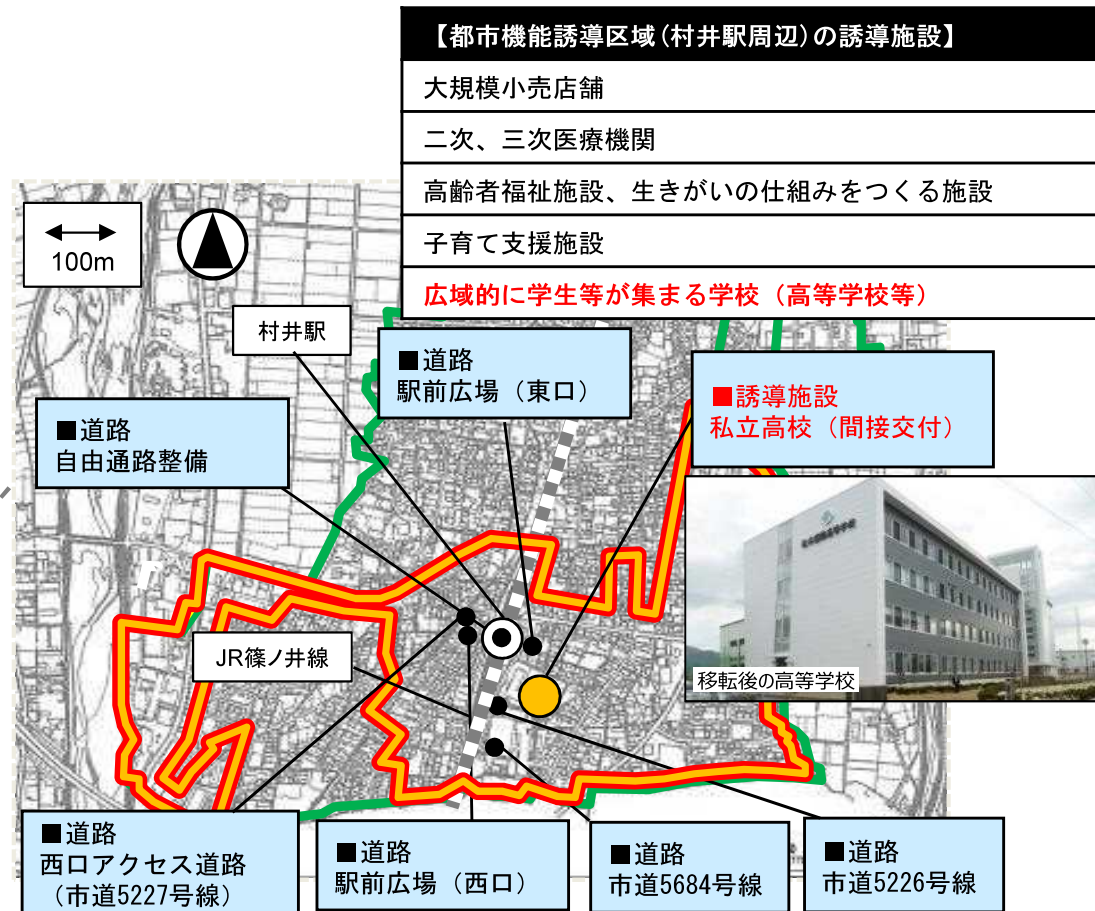
- 松本市（人口24万人）は、平成29年3月に策定した立地適正化計画において、日常の用事を歩行等で済ませることができる暮らしの環境の維持等を目指す都市像としている。
- 本事業は、市南部地域の中心地である「村井駅周辺地区」において、村井駅を中心とした安全で安心して歩ける日常生活圏の創出をテーマに、居住誘導区域外の災害ハザードエリア（浸水想定区域）にある私立高校をまちなかへ移転するとともに、その周辺の駅前広場や自由通路等の基盤整備を行う。

◆事業主体：松本市 ◆面積：56.3ha ◆事業期間：平成29年度～令和3年度



- 都市再生整備計画の区域
- 基幹事業
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 市街化区域

- 浸水想定区域（5.0m以上未満）
- 浸水想定区域（2.0～5.0m未満）
- 浸水想定区域（1.0m～2.0m未満）
- 浸水想定区域（0.5m～1.0m未満）
- 浸水想定区域（0.5m未満）



●居住誘導区域外の災害ハザードエリア（浸水想定区域）に位置する「私立高校」を都市機能誘導区域内へ移転
→駅を中心とした安全で安心して歩ける日常生活圏の創出を図る